

目 次

著者一覧・ ii

はじめに・ iii

目 次・ v

第1章 医療被ばくガイドラインの策定

1. わが国における医療被ばくの現状	2
2. 医療被ばくと放射線防護の3原則	4
3. 2000年のJART会誌発表	6
4. 2000年ガイドラインの目的	8
5. 医療被ばくガイドライン作成の意義	10
6. 「安心できる放射線診療のために」の開催	12
7. 医療被ばく線量には2つの意味	14
8. 医療被ばくを説明する場合の注意点	16
9. 医療被ばくガイドライン 2006 公表後の活動報告	18
9-1. 線量推計法	18
9-2. 装置表示を用いる方法	20

第2章 診断参考レベル

1. 診断参考レベルの公表	26
2. 診断参考レベル運用上の注意点	28
3. 医療被ばくの正当化	30
4. DRLs2020 公表後の活動報告	32

第3章 医療被ばく低減施設認定

1. 医療被ばく低減施設の紹介	38
1-1. 医療機関の認定	38
1-2. 医療従事者の認定	40
1-3. 医療被ばく低減施設認定	42
1-4. 医療被ばく低減施設認定の審査項目	44
1-5. 医療被ばく低減施設で求められる認定資格	46
2. 訪問審査から見たこと	48
3. 個人モニター2個装着事例	52
3-1. 医療被ばく低減施設認定受審の試み	52
3-2. 個人モニター2個から実効線量の評価	56
4. 放射線診療従事者の被ばく線量測定	58
5. 装置の出力測定および患者被ばく線量の推計	62
5-1. 一般撮影（レントゲン）の出力測定	62
5-2. X線CT検査の出力測定	64
5-3. 血管造影検査の出力測定	66
6. 施設認定受審に向けての活動	68
6-1. 認定を知ってもらう	68
6-2. 放射線の量を調べる	70
6-3. 放射線の量を知る	74
6-4. 人体への影響を計算する	76
6-5. 装置を管理し放射線の量を保つ	78
7. 核医学施設の管理	82
7-1. 核医学検査の概要	82
7-2. 放射性医薬品の投与量決定	84
7-3. 核医学検査の被ばく低減	86

7-4. 核医学施設の管理	88
8. 漏えい線量測定	90
9. 医療被ばく低減施設認定の現状	94
9-1. 日本放射線公衆安全学会の取り組み	94
9-2. 医療被ばく低減施設認定に期待されること	96

第4章 医療法施行規則の改正を受けて

1. レントゲン手帳	100
1-1. 「レントゲン手帳」って何ですか？	100
1-2. レントゲン手帳の利用経験	102
1-3. 医療被ばく線量の記録は、他の国でも行っているのですか？	104
2. 放射線診療従事者の手指被ばく防護	106
2-1. X線透視での手指被ばく防護	106
2-2. 核医学検査での手指被ばく防護	108
3. 放射線業務従事者の水晶体被ばく防護	110
3-1. 水晶体被ばくの影響について	110
3-2. 医療機関における放射線業務従事者の 水晶体被ばくの現状と対応	114
4. 病院職員の教育訓練	118
4-1. 診療用放射線の安全利用に関する研修	118
4-2. 放射線障害の防止に関する教育訓練	120
4-3. 安全衛生教育	122
5. 医療用放射線装置管理	124
5-1. 概要	124
5-2. 関係法令	126
5-3. 装置の研修	128

5-4. 装置の点検	130
6. ポータブル撮影時の被ばく管理	132
6-1. 病室での X 線撮影と散乱線について	132
6-2. 自然放射線との比較と実際の対応について	134
7. 検診機関における被ばく線量管理	136
8. 患者さんからの質問への対応	138
8-1. 求められる医療被ばくの説明責任	138
8-2. 検診機関における被ばく説明	140
8-3. 放射線被ばくと白血病	142

第5章 市民に向けた活動

1. 医療被ばく相談活動	146
2. 市民対象の行事	148
3. 学校訪問活動	152
4. 埼玉県診療放射線技師会の活動	156
5. 北海道放射線技師会の活動	160
5-1. 線量を知るために	160
5-2. 疑問に答えるために	162

用語集・165

索引・175

あとがき・180